

エネルギー事情の 現在地と未来

～カーボンニュートラルに向けてどうする？～

地球温暖化対策として掲げられる「カーボンニュートラル」は、エネルギーの効率的な利用だけでなく、持続可能な方法で“いかに作るか”が重要な課題となっています。

日本においても、第7次エネルギー基本計画(令和7年2月)や脱炭素社会の実現に向けた多くの施策が進められ、既存技術の高効率化や低炭素化の進展に加え、次世代技術開発への期待が高まっています。一方、クラウドサービスやAIの急速な普及・拡大、これに伴うデータセンターの新設・増設の加速によって、電力需要は2025年から2030年のわずか5年間で2倍に達すると予測されており、安定した電力供給が大きな課題となっています。

本シンポジウムでは、「エネルギーを作る・届ける」をキーワードに、これらを取り巻く環境と関連技術を俯瞰し、未来社会に必要なエネルギー事情について理解を深め、今後私たちが何をすべきかを考える機会にしたいと考えています。

2026年9月8日(火) 13:30～17:20

北海道大学 札幌キャンパス F211



時間	内容
13:30-13:35	■ はじめに インダストリアルチャプター
13:35-14:25	■ 【基調講演】我が国のエネルギー政策について 経済産業省 資源エネルギー庁 小島 拓海
14:25-14:55	■ 【招待講演】フュージョンエネルギー研究開発の現状と課題 量子科学技術研究開発機構 大山 直幸
14:55-15:20	■ 休憩
15:20-15:50	■ 【招待講演】火力発電所における水素・アンモニア混焼の検討 中部電力 大岩 徳雄
15:50-16:20	■ 【招待講演】ペロブスカイト太陽電池の現在地:研究最前線から社会実装へのロードマップ 1. 京都大学化学研究所, 2. エネコート 若宮淳志 ^{1,2}
16:20-16:50	■ 【招待講演】エネルギー転換を実現するHVDC 日立エナジージャパン 西岡 淳
16:50-16:55	■ おわりに インダストリアルチャプター
16:55-17:20	■ 名刺交換会

